

## 市川 貢先生の名誉教授記念号に寄せて

経営学部長 教授 具 承 桓

市川 貢先生は、平成 29 年 3 月末をもって、京都産業大学をご定年で退職されました。先生が本学に着任なさいましたのは、昭和 51 年のことで 41 年間、教育と研究だけではなく、様々な大学機構の役職を通じて、本学や本学部の発展に寄与されてこられました。その長年の功績により、先生はご退職と同時に京都産業大学から名誉教授の称号を授与されました。それを記念して本号を発行させていただくことになりました。われわれ関係者一同は大きな喜びを感じているところでございます。

まず、先生のご経歴を簡単に紹介させていただきます。市川先生は、1969 年（昭和 44 年）に関西学院大学商学部の卒業後、同大学院商学研究科に進学し、前期課程を修了、続いて博士後期を単位取得満期退学されました。1976 年（昭和 51 年）4 月に本学専任講師として着任し、1980 年（昭和 55 年）に助教授に、1987 年（昭和 62 年）に経営学部教授に昇任されました。その後、先生は大学の入試部長（平成 10 年 4 月～平成 12 年 3 月）、入学センター長（平成 12 年 4 月～平成 14 年 9 月）、全学共通教育センター長（平成 16 年 4 月～平成 20 年 9 月）、京都産業大学体育会ソフトボール（女子）監督（平成 30 年 4 月～）などを歴任されました。昭和 58 年 8 月より 1 年間、イギリス・プレストン・ポリテクニクおよびノッティンガム大学に留学しました。その成果は教育と研究にも大いに活かされました。

本学で 40 年を超える教鞭を取られ、多くのゼミ生を輩出し、社会に大いに貢献する弟子を育てられました。先生のゼミは活気があり、学生から人気があったことを思い出します。学生にやさしい先生として、また、実践的な学びを強調するゼミであったことが記憶に新しいです。また、先生が様々な大学の役職に就いた時期は、まさに大学にとっては激変の時期と言っても過言ではない時期でした。1990 年代の後半を思い出して頂ければわかるように、バブル経済の崩壊後、日本経済は変革期であり、社会は IT 化の波が押し寄せてくる時代でした。大学もその影響を多く受け、変革が求められた時代でした。その時期に大学の入試を総括する重役を担いながら今の大学の成長の基盤づくりに大きく貢献されました。

先生は「マーケティング」分野で数多くの業績を残しています。マーケティングや商業、小売業などを中心に、変革期に起きた流通や小売業の変化を学問的に解説したテキストや論文などを通じて発信すると同時に、実践的な観点から地域社会への助言をされました。地域社会における多様な審議会や委員会にもその足跡を残されました。京都地域を中心に、京都市商業集積検討委員会委員

長と京都市大規模小売店舗立地審議会会長，京都市北区50周年記念事業実施委員会委員長，京都市商業調整審議会副会長などを歴任されながら，地域社会の発展にも大いに貢献されました。

市川先生，これまで大変お疲れさまでした。また，ファカルティー一同感謝いたします。これからもますますお元気でご活躍されることを心より祈念いたします。